

一般質問通告書

No 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 28 年 5 月 30 日

議員番号 2 番

東村山市議会議長 様

質問者 島崎よう子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p data-bbox="300 645 790 683">さらに安心できる災害対策に</p> <p data-bbox="300 757 1441 1019">平成 28 年熊本地震は、4 月 14 日発生した震度 7 の後、16 日にさらに大きな本震を発生するという想定外の地震で、14 日時点では倒壊しなかった建物等が崩れ 16 日の地震により甚大な被害になったといわれています。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様にお見舞い申し上げます。被災地の速やかな復旧・復興を願うばかりです。</p> <p data-bbox="300 1041 1441 1191">首都直下型地震が今後 30 年間の間に必ず発生すると言われていますが、ともすると日常生活に流され地震対策が意識から遠くなりがちです。熊本地震を教訓に減災に取り組みたいと考え以下伺います。</p> <ol data-bbox="300 1265 1441 2038" style="list-style-type: none">1. 配布された市防災ガイドマップによれば、地域配備消火器および防火水槽の配置は、地域間での大きなばらつきが目につく。その理由と今後の配置計画などを伺う。2. 室内家具転倒防止対策 現況の実施率 2 倍増を目標にしているが、その数値を伺う。実現達成の課題をどう捉えているか。3. 住宅の耐震改修促進計画では、耐震化率目標 94% であるが、現況の数値はいくらか。 ②住宅密集地危険度 3 は市内では青葉町 3 丁目対象である。かつては諏訪町も 3 であったが戸建て住宅の耐震化が進められて危険度が下がった。青葉町 3 丁目自主防等へ木造住宅簡易耐震診断の働きかけなど行っているのか。 ③要緊急安全確認大規模建築物について、国が民間事業者等に対し補強設計・耐震改修に要する費用補助の対象となった市内の建物はあるのか。

④マンションの簡易耐震診断で助成制度等はあるか。

4. 地域防災訓練の推進 福祉施設との協定は進んでいるように見えるが、計画に掲げている「地域事業所」との協定状況および各町毎の防災訓練の実施状況を伺う。

5. 役所職員の参集訓練 数年前に管理職による訓練を行っているが、どのように生かしているのか。また、今後の参集計画はあるのか、どのようなものか。

6. 事業所・学校との連携強化 業務継続計画 BCP の市作成状況は？

②市内においてBCPを作成しなければならない対象となる事業所はあるのか？

7. 避難所運営委員会の推進 小学校全 22 校に設置され今年度は中学校においてすすめることになっているが、対象地域の方は進捗が見えず不安だと言っている。設置時期等広報で知らせ、周知啓発のチャンスとすべきではないか。

8. 要援護者避難支援作成プラン 地域防災訓練に一人暮らし高齢者や身体に不具合のある方は、危機感をもって参加されるようになってきているのを感じる。避難所運営委員会との連携が必要に思うが見解を伺う。

9. トイレ対策 「東京防災」で 50 人にトイレ 1 基の配置と知り厳しさを感じた。震災後にトイレ不足により水分摂取を我慢して具合が悪くなりかねない。トイレ対策は食料確保より重大と言えるかもしれない。現況の配備状況と計画を伺う。また、熊本震災にボランティアに入った方からネコ砂活用が有効だと聞いた。今後の備蓄品に推奨し加えるべきと思うが如何か。

10. 熊本震災で市職員は罹災証明手続きを行ったと聞くが、その経験から何を学んだか伺う。

11. ボランティア窓口は社協が担うことになっているが、ニーズ把握とボランティア配置をシステム化しておく必要があると思うが、どのように進めるか。

II 認知症声掛け訓練の全市取り組みを

青葉町高齢者見守りネットワークでは、5月21日に青葉町2丁目周辺のスーパーや商店街など6か所で認知症声掛け訓練を行った。認知症役は帰る家が分からなくなったという想定で、声掛けするのは2人組がおおよそ10分で目途を立てるよう対応するというものでした。ほとんどの方は何とって話しかけて良いのか戸惑い難しかったという感想でした。一方、認知症役は、いきなり名前は何？住所は？カバンの中を見せてと言われて不愉快の心境になりました。手を握って貰い世間話をして貰った認知症役は、安心してほっとしたという経験の人もいました。この訓練は「認知症」についての理解も深められ有効だと思います。東村山市内全町での取り組みを願う立場から以下同う。

1. 認知症の方が迷われ警察や包括支援センターに保護される方はどのくらいおられるのか。帰宅に至るまでの経過はどのようなか。
 2. 声掛け訓練では、住所氏名等がわかるものを身につける必要性があり、社協の「ヘルプカード」を普及させたら良いと思ったが見解を伺う。また、身につける工夫があればお聞きしたい。
 3. 小学校での「認知症サポート」の取り組みが昨年からは開始されていると聞くが、実施状況を伺う。子どもたちや教師の反応や課題も聞きたい。
 5. 先進市である大牟田市の現況は如何であろうか。今後の認知症の方及び家族を支える方策として参考になる点はあるか。
 6. 高齢者見守りネットは、現在6町で進められているが、その他の地域の動きと見通しを伺う。
4. 健康増進課職員には準備段階から参加していただいた。東村山駅東口と青葉町の訓練を通じて、どのような展望をもたれたのかお聞きしたい。

Ⅲ 困り感ある生徒の高校進学への支援

高校の学校公開が始まり、進学先探しに奔走される保護者も多いのではないかとと思われる。特に困り感ある生徒の場合は不安も大きいのではないだろうか。納得のいく高校選びが進むよう支援を望む立場から以下伺う。

1. 27年度、不登校や発達障がい等困り感を抱えた生徒の卒業後の進路を人数と共に伺う。
2. エンカレッジやチャレンジスクールなどはそれぞれの入試スタイルがあるようだが、幅広い高校の選択を可能にするべきと考えたときの内申書の扱いを伺う。内申書はどういった基準で成績をつけるのか。また、例えば3年生になって欠席が多い学科は判定がつけられないのか。それとも1年2年生時の評価を参考にするようなこともできるのか。
3. 各中学校特別支援コーディネーターは、その生徒の特性を考えて高校選びを手伝っているか。
4. 希望学級や通級の先生たちもその生徒の特性を考えて高校選びを支援しているか。
5. 都立高校では、中学校における学習や生活面でどのような配慮を受けていたのか知らせて欲しいとしているが、対応するようになっているか。